学校番号	1007

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	生涯スポーツ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

性別、年代、ハンディキャップの有無をこえ、スポーツに親しめるように、様々な生涯スポーツのルールや戦術などの知識を習得できるように活動を行います。またパラスポーツの意義についても深く考え取り組みます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・ルールや戦術を理解し、実践することができるようになる。
・けがを防ぐための準備やウォーミングアップの基礎知識を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・知識を活用し、技能向上につなげることができる。
・プレーの善悪が判断できるように、審判法を身につける。
・実践能力の向上や個人、チーム、グループで戦術等の学習を行い、効率的な練習方法や指導法を体得する。
【学びに向かう力、人間性等】
・様々な生涯スポーツの種目を通して、自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わうことができる。
・安全に留意しながら授業に主体的に取り組むことができる。
・他者を尊重し、協力して競技が楽しめるようになる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ルールや戦術を理解し、実践することができる。 けがを防ぐための準備やウォーミングアップの基礎知識を身に付けることができる。	知識を活用し、技能向上につなげることができる。 プレーの善悪が判断できるように、審判法を身につけることができる。 実践能力の向上や個人、チーム、グループで戦術等の学習を行い、効率的な練習方法や指導法を実践することができる。	様々な生涯スポーツの種目を通して、自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとすることができる。 安全に留意しながら授業に主体的に取り組むことができる。 他者を尊重し、協力して競技を楽しむことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期		オリエンテーション キンボール ソフトテニス	ａ:キンボールのレールを理解しゲームに参加できる。 a:サーブ、フォアハンド、バックハンドのショットが打つことができる。 b:個人、グループで戦術を考え試合で実践することができる。 c:安全に配慮し、準備や試合等に主体的に参加している。	実技テスト レポート 筆記テスト	観察 ワークシート 試合実践	観察 発表 レポート
2学期		ゴールボール ユニバーサルホッケー	a:ルールを理解しゲームに参加できる。 ａ:各種目に必要なショットなどの技術を身につけ、実践する事ができる b:個人、グループで戦術を考え試合で実践することができる。 c:安全に配慮し、準備や試合等に主体的に参加している。	実技テスト レポート 筆記テスト	観察 ワークシート 試合実践	観察 発表 レポート
3学期		シッティングバレー 卓球	a:ルールを理解しゲームに参加できる。 ａ:各種目に必要なショットなどの技術を身につけ、実践する事ができる b:個人、グループで戦術を考え試合で実践することができる。 c:安全に配慮し、準備や試合等に主体的に参加している。	実技テスト レポート 筆記テスト	観察 ワークシート 試合実践	観察 発表 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度